

年 組 名 前 :

戦禍伝え 平和願う

甲府空襲展 ウクライナの展示も



空襲後の甲府市街地を再現したジオラマと焼夷弾の模型

第41回「甲府空襲 戦争と平和・環境展」（同実行委員会主催）が1日、甲府・県立図書館で始まった。甲府空襲から今年で77年。当時を記録した写真や模型、戦時下の生活品など361点を展示し、戦争の悲惨さと平和の尊さを伝える。（山本久美子）

甲府空襲は1945年7月6日深夜から7日未明にかけてあり、1127人が犠牲となった。企画展は新型コロナウイルスの影響で中止となった一昨年を除き毎年開催。空襲後の甲府市街地の模型や焼け野原となった街を記録した写真パネルなどが並ぶ。

今回、特設展示として「ウクライナ戦争」「イスラエル・パレスチナ問題」「シリア内戦」など世界の戦争や内戦を市内外小中学校教諭が調べ、図解で解説。戦時中の生活用品の展示コーナーもある。会期中、空襲体験者らの講話と、甲府空襲を伝える大型紙芝居を3年ぶりに実施。人数や時間制限を設け、社会科見学などの小中学生も受け入れる。

1日は市川三郷・六郷中、中央・三村小の子どもたちが見学。小学1年の時に東京都内から山梨に疎開した立川善之助さん(88)が戦争体験を語り、「戦争は子どもたちの生活も将来の希望も奪う。戦争反対という強い気持ちを持ってほしい」と呼び掛けた。6年早藤慧人君は「戦争は絶対に駄目だと強く感じた。子どもも戦争に巻き込まれ、怖い」と思ったと話した。

手塚仁実行委員長は「ロシアのウクライナ侵攻を受け戦争と平和について考える機会が増した。身近で起きた甲府空襲を知り平和の尊さを考えてほしい」と話した。同展は6日まで。午前10時～午後6時（最終日は3時半まで）。入場無料。



「ウクライナ戦争」など世界の戦争や内戦について解説した展示



戦争体験を語る立川善之助さん
＝いずれも甲府・県立図書館

(2022年7月2日付 山梨日日新聞 26面)

問1 次の文章の①から⑩に当てはまる言葉や数字を答えてください。

『甲府空襲は①年②月③日の深夜から7日未明にかけてあり、④人が犠牲となった。企画展では、当時を記録した写真や⑤、戦時下の⑥など⑦点を展示し、戦争の⑧さと⑨の尊さを伝えている。』

①..... ②..... ③..... ④..... ⑤.....

⑥..... ⑦..... ⑧..... ⑨..... ⑩.....

問2 甲府空襲では、多くの犠牲者がでました。あなたは、この記事を読み、何を感じましたか。感想を書いてください。

.....

.....

.....